

令和6年度筑波大学留学生後援会基金寄附者名簿

令和7年3月31日現在

学長	人文社会系	大塚 秀 男	一般/支援団体等
永 田 恭 介	小 野 正 樹	コンプライアンス・ハラスメント対策室	Rude Markus
副学長	竹 中 佳 彦	1名	Olukayode Adebisi
加 藤 光 保	システム情報系	学生部	他2名
重 田 育 照	鈴木 健 嗣	五十嵐 千恵子	
中 内 靖	吉 瀬 章 子	矢 内 理恵子	
本 間 三和子	図書館情報メディア系	他1名	合 計
池 田 潤	高 久 雅 生	名誉教授	教職員 23名
氷見谷 直 紀	人間系	勝 田 茂	名誉教授 5名
加 藤 和 彦	柿 澤 敏 文	木 下 太 志	一般 4名
西 尾 チヅル	総務部	長谷川 聖 修	
平 松 祐 司	落 合 俊 介	長谷川 秀 彦	
呑 海 沙 織	教育推進部	他1名	※ご寄附の際にご芳名の公表について確認できなかった方の公表は控えさせていただきます。

令和5年度筑波大学留学生後援会基金寄附者名簿

令和6年3月31日現在

学長	直 江 俊 雄	総務部	真 田 久
永 田 恭 介	野 中 勝 利	今 村 英 輔	佐 野 淳
副学長	山 本 早 里	浦 田 里 子	高 橋 三保子
池 田 潤	山 田 協 太	落 合 俊 介	瀧 田 宏 樹
加 藤 和 彦	他2名	金 子 百合子	田 瀬 則 雄
加 藤 光 保	図書館情報メディア系	他2名	田 林 明
金 保 安 則	大 庭 一 郎	大学経営推進局	朽 堀 申 二
重 田 育 照	大 金 宣 経	真 保 洋	中 村 義 孝
呑 海 沙 織	歳 森 敦 敦	土 居 新 治	根 本 承次郎
西 尾 チヅル	松 村 敦 敦	病院総務部	長谷川 宏 司
原 間 晃	高 久 雅 生	村 上 公 一	長谷川 聖 修
本 間 三和子	他4名	他1名	長谷川 秀 彦
人文社会系	人間系	図書館情報エリア支援室	深 尾 立
小 野 正 樹	柿 澤 敏 文	富 山 昭 浩	藤 井 宏 一
竹 中 佳 彦	他1名	石 毛 俊 一	松 田 ひとみ
他2名	医学医療系	他3名	村 山 祐 司
数理物質系	1名	学生部	本 橋 信 義
都 倉 康 弘	生存ダイナミクス研究センター	中 澤 秋 夫	若 槻 雅 男
服 部 利 明	丹 羽 隆 介	五十嵐 千恵子	他8名
松 石 清 人	柳 沢 裕 美	小 沼 美 奈	一般/支援団体等
他1名	附属聴覚特別支援学校	金 京 花	海 野 満 峯
システム情報系	眞 田 進 夫	日 下 夕紀子	永 好 昭
遠 藤 靖 典	教育推進部	鷹 巢 明 美	奈 良 哲
大 矢 晃 久	大 塚 秀 男	津 谷 菜保子	古 田 光
EOM SUNYONG	八 田 弘	西 島 悠 策	油 原 ゆう子
河 辺 徹 明	八 木 悠 氣	矢 内 理恵子	国際交流ボランティア虹の会
文 字 秀 明	他1名	他3名	つくば学園ロータリークラブ
吉 瀬 章 子	広報局	名誉教授	他2名
他4名	福 居 高 志	阿 江 通 良	
生命環境系	他1名	赤 平 昌 文	
岡 根 泉	国際局	浅 野 侑 三	合 計
杉 田 倫	関 瑞 穂	新 井 保 幸	教職員 104名
他1名	関 本 啓 子	石 隈 利 紀	名誉教授 44名
体育系	国際産学連携本部	板 橋 秀 一	支援団体等 2団体等
清 水 諭	西 野 由 高	稲 葉 信 子	
鍋 山 隆 弘	財務部	内 山 裕 夫	
古 川 拓 生	1名	江 田 昌 佑	
他1名	産学連携部	小野寺 夏 生	
芸術系	國 土 順 一	角 井 博 博	
上 北 恭 史	他2名	勝 田 茂 司	
大 原 央 聡	事業開発推進室	門 脇 厚 修	
小 山 慎 一	飯 田 真 友	菊 池 達 雄	
武 田 一 文	武 井 一 浩	木 村 典 子	
田 島 直 樹	人文社会エリア支援室	清 登 典 子	
田 中 佐代子	嶺 清 人	小 山 哲 夫	※ご寄附の際にご芳名の公表について確認できなかった方の公表は控えさせていただきます。

留学生からのお礼メッセージ

皆様からお寄せいただきましたご厚志は、留学生に対する一時金貸出の支援にも活用させていただきます。ここでは、学生からの感謝の言葉をお届けさせていただきます。

#1

私は博士後期の学生として、海外研究活動参加のために多額の費用が発生しました。その費用は大学が負担するものの、事後精算となるため、私自身が立て替える必要がありました。このことにより、一時的な資金繰りの問題が生じました。

皆様のご支援による寄付金のおかげで、資金面での不安が解消され、研究を進めることができました。

今後も引き続き研究に励み、より良い成果を上げられるよう努力してまいります。このたびは本当にありがとうございました。

中国 博士後期2年

#2

I was a non-degree seeking student in Tsukuba University and I took out this loan to cover my living expenses during a particularly difficult period in my life.

The financial support I received was essential as my personal savings were not enough to meet my needs. I carefully distributed the loan amount evenly across the entire loan period, which not only provided me with stability but also taught me valuable lessons in budgeting and planning for the future.

Thanks to this support, I was able to focus on my studies without the constant worry of financial instability.

(参考訳)

私は筑波大学に在籍する非正規学生でしたが、特に生活が苦しい時期に生活費を賄うためにこの貸出支援を利用しました。

個人的な貯蓄だけでは足りず、このような経済的な支援は必要不可欠でした。

私は借入額を借入期間中に均等に配分しました。このことは、私に安定をもたらしただけでなく、予算を立て、将来の計画を立てるという貴重な教訓を与えてくれました。

このサポートのおかげで、経済的な不安から解放され、勉強に集中することができました。

ウクライナ 元特別聴講学生